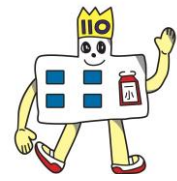




武蔵村山市立第一小学校 学校だより



令和6年5月31日

3校時の意見交換会

校長 押本 純樹

昨年度、ちょっとショックな数字がありました。あるクラスで保護者会を行ったところ、出席者が2名でした。子供たちと担任との関係は良好で、落ち着いて学習に取り組めるクラスの保護者会ただだけに、この「2」という数字に寂しさを感じました。良い方に解釈して、安心して任せているという信頼の裏返しだとしても、無理が拭いきれません。

コロナ禍で保護者来校の制限があっても学校の教育活動がそれなりに回っていたことを受け、保護者会に出席しなくても子供の成長には関係ないという思いが、たまたま重なった結果なのでしょうか。年度末の保護者会ただだけに、子供たちと真摯に向き合った担任への感謝や労いの言葉があれば、教員の心も休まり、次年度への意欲に繋がる機会になったのではないかと、校長としては思ってしまうのです。

御家庭にそれぞれ事情があり、平日に仕事をなかなか休めないことに理解を示すところではありますが、子育ては、学校だけが担うものではありません。学校・家庭・地域の連携があつてこそ、子供は健やかに成長していきます。それぞれの立場から違った視点でその子ならではの良さを認め、温かく見守り、時に厳しくも関わることで社会性が育ち、心豊かな人間性が育まれていくのではないのでしょうか。

そこでということもあり、三小の取組を参考に、6月8日（土）の道徳授業地区公開講座を工夫してみました。すでに御案内しているところですが、次のようにします。

- 1校時：全学年 通常授業の公開（6-2のみ道徳）
- 2校時：全学年 道徳授業の公開（6-2のみ租税教室）
- 3校時：6年生と保護者・地域による意見交換会（体育館）
1～5年生の授業公開はなし（杉の子・さくら学級は、授業公開）
- 4校時：児童引き渡し訓練（校庭、雨天時は教室）

2校時の授業参観が終わりましたら、参観者の皆様は、体育館にお集まりください。道徳資料を共有した後、6年生とグループ懇談をしてください。この取組について、人が集まり過ぎるという声がある一方で、4校時の引き渡し訓練が始まるまで保護者は校庭や廊下で立ち話をしているかもしれないという指摘もありました。悩みましたが、まずは何かを変えたくて、やってみることにしました。

実際に6年生と意見交換するのは、15分程度です。何をもって正解とするのか、それぞれの経験から自分の答えを導き出すのが道徳です。あまりかしこまらず、一人の大人として感じたことを率直に6年生に伝えてください。本校の子供たちがどんなことを思っているかを知る機会にもなります。



6年算数の授業